



建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1)

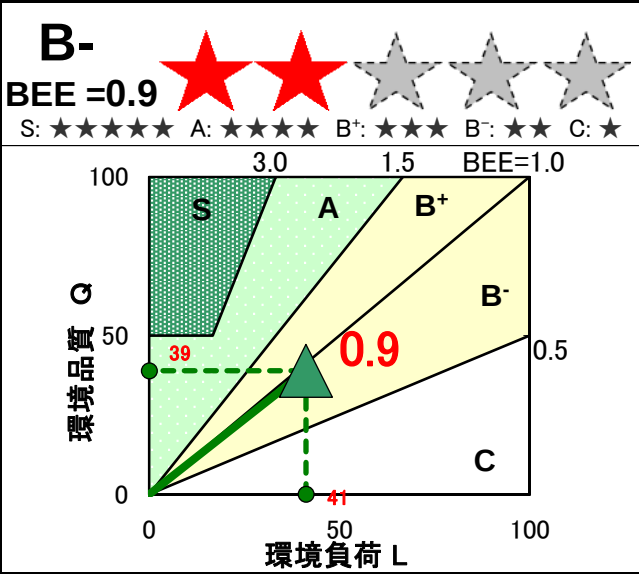
1-1 建物概要

建物名称	第一ボールド株式会社新社屋新築工事		
建設地	西区安治川1丁目		
建築用途	倉庫(事務所付)		
建築主			
設計者			
敷地面積	2,052.53	m ²	
建築面積	1,358.12	m ²	
延床面積	2,841.10	m ²	
構造/階数	S造	/	地上3階
完了年(予定)	2021年11月		

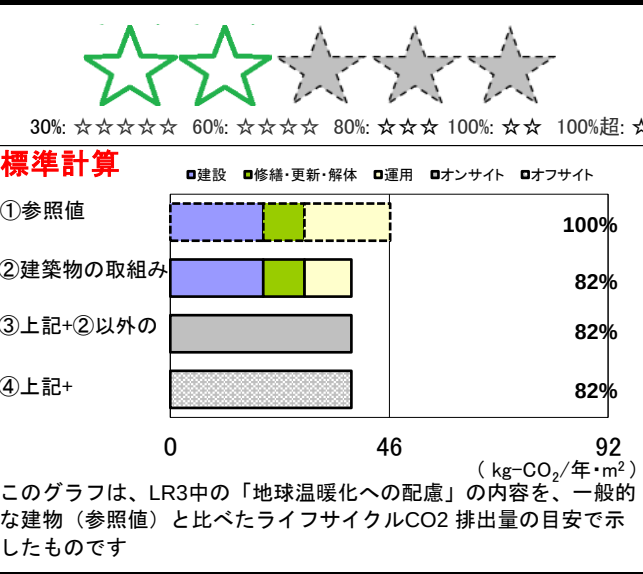
1-2 外観



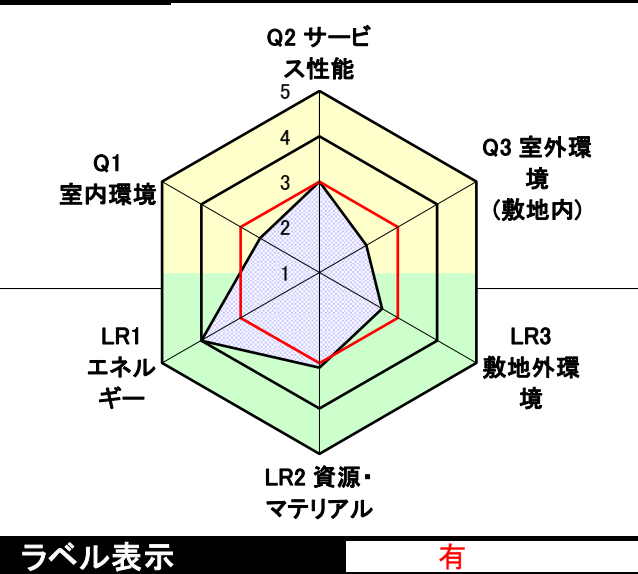
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



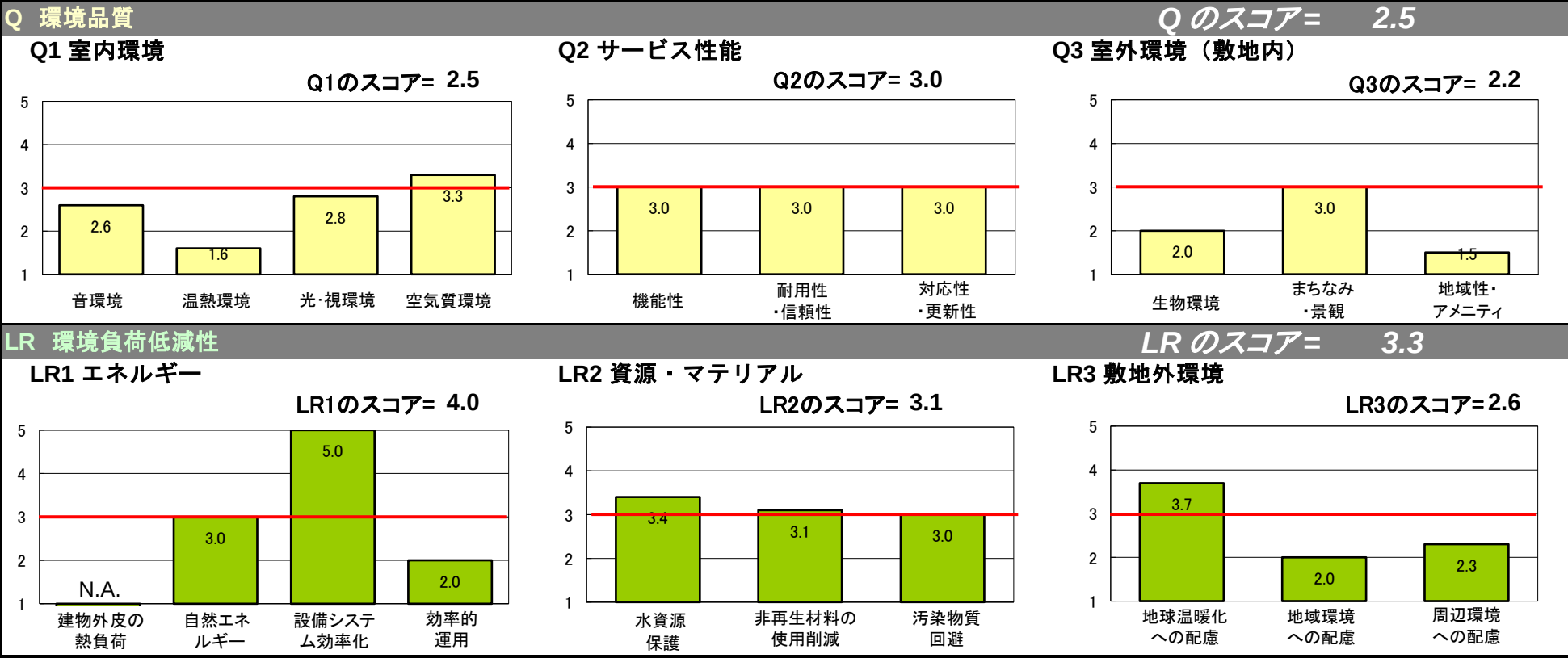
2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合 敷地南側にできるだけ植栽帯を設けることで、良好な市街地の形成を目指す。		その他 特になし。
Q1 室内環境 内装仕上げについてはF☆☆☆☆を使用し、24時間換気とすることで、ホルムアルデヒドの発散を抑えた室内環境としている。	Q2 サービス性能 事務所の天井高さを2.8m、従業員一人当たりのスペースを10m ² 程度確保することで、良好な執務スペースを確保している。	Q3 室外環境(敷地内) 周辺の景観に合わせて、建物高さを20m以下としている。また、南側道路に面して植栽帯を設けることで、周辺の街並みや景観に対する計画としている。
LR1 エネルギー 屋上に太陽光パネルを設けている。	LR2 資源・マテリアル 内装材にリサイクル材、節水型機器を使用している。	LR3 敷地外環境 適切な駐車スペース、駐輪場、荷捌き場を確保し、路上駐車などの交通負荷抑制に配慮している。

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 0.9

ラベル表示



環境性能		評価点
(1)CO2削減		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	3.7
配慮事項	特になし	

環境性能		評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策		2.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	2.0
Q3 / 3 /3. 2/	敷地内温熱環境の向上	2.0
LR3/ 2 /2. 2/	温熱環境悪化の改善	1.0
配慮事項	特になし	

環境性能		評価点
(3)建物の断熱性		0.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	0.0
配慮事項	特になし	

環境性能		評価点
(4)エネルギー削減		5.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	5.0
配慮事項	特になし	

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合
--------	----

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4（相当）以上、非住宅部分が1.0以下であること
※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること（新築時）
（基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること）

外皮性能	住宅部分（品確法等級）	非住宅部分[BEI][BEIm]
	対象外（相当）	-
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEIm]	住宅部分[BEI]
	0.55	-
		非住宅部分[BEI][BEIm]
		0.55

再生可能エネルギー利用設備導入検討シート（太陽光発電設備用）

1

設備導入の検討

①

周辺環境の把握

②

日照条件の検討

ア

検討対象とする場所

■

屋根部

地上高さ（

19

）m

□

地上部

（

□

空地部分

□

その他

）

□

壁面

□

その他

（ ）

イ

アの周囲における日射遮蔽物

■

なし

□

あり

方位（ ）高さ（約 ）m水平距離（約 ）m

方位（ ）高さ（約 ）m水平距離（約 ）m

方位（ ）高さ（約 ）m水平距離（約 ）m

方位（ ）高さ（約 ）m水平距離（約 ）m

方位（ ）高さ（約 ）m水平距離（約 ）m

ウ

日照の確保（冬至）

■

十分

□

不十分

③

日照条件に適合する場所の検討

ア

設置可能面積等

（

376.0

）㎡方位（

南東

）設置角度（

2

）度

イ

設置可能太陽光パネル面積

（

109.0

）㎡

ウ

設置可能容量

（

20.0

）kW

エ

利用設備に対する荷重対策

■

あり

□

なし

オ

設置に備えた対応

□

なし

■

あり

（例：設備用基礎の設置）

（取付金物設置 ）

④

導入判断

検討結果

■

導入する

→具体的な検討を行い、実際に設置する設備概要を2に記入

□

導入しない

導入を見送る理由（複数選択可）

□

日照が確保できない

□

躯体が荷重に対応できていない

□

敷地内に設置する場所を確保できない

□

費用負担が大きいの

□

本計画では見送るが、将来対応可能とする

□

その他（ ）

2

導入する設備の概要

ア

太陽光パネル面積

（

109.0

）㎡

イ

発電容量

（

20.0

）kW

備考

自己消費、蓄電池なし。

注

2ア太陽光パネル面積が、1③イ設置可能太陽光パネル面積と大きく異なる場合、備考欄にその理由を記入してください。

1 設備導入の検討

② 日照条件の検討

ア 検討対象とする場所	☒ 屋根部 地上高さ（ 19 ）m ☐ 地上部 （ ☐ 空地部分 ☐ その他 ） ☐ 壁面 ☐ その他 （ ）																				
イ アの周囲における日射遮蔽物	☒ なし ☐ あり <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>方位</td><td>（ ）</td><td>高さ（約 ）m</td><td>水平距離（約 ）m</td></tr> <tr> <td>方位</td><td>（ ）</td><td>高さ（約 ）m</td><td>水平距離（約 ）m</td></tr> <tr> <td>方位</td><td>（ ）</td><td>高さ（約 ）m</td><td>水平距離（約 ）m</td></tr> <tr> <td>方位</td><td>（ ）</td><td>高さ（約 ）m</td><td>水平距離（約 ）m</td></tr> <tr> <td>方位</td><td>（ ）</td><td>高さ（約 ）m</td><td>水平距離（約 ）m</td></tr> </table>	方位	（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m	方位	（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m	方位	（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m	方位	（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m	方位	（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m
方位	（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m																		
方位	（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m																		
方位	（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m																		
方位	（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m																		
方位	（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m																		
ウ 日照の確保（冬至）	☒ 十分 ☐ 不十分																				

ア 建築物の用途	倉庫（事務所付）
イ 熱需要対象用途	☒ 冷房 ☒ 暖房 ☐ 給湯 ☐ その他（ ）
ウ 設置可能面積	(300.0) m ²
エ 概算年間熱利用量	(653,100) MJ/年
オ 利用設備に対する荷重対策	☐ あり ☒ なし
カ 設置に備えた対応	☒ なし ☐ あり （例：設備用基礎の設置） （ ）

検討結果 ☐ 導入する →具体的な検討を行い、実際に設置する設備概要を 2 に記入

■ 導入しない

導入を見送る理由（複数選択可）

- ☐ 日照が確保できない
- ☐ 年間を通じて安定した熱需要がない
- ☒ 躯体が荷重に対応できていない
- ☐ 敷地内に設置する場所を確保できない
- ☒ 費用負担が大きい
- ☐ 本計画では見送るが、将来対応可能とする
- ☐ その他 （ ）

ア 集熱パネル面積	() m ²
イ 概算年間熱利用量	() MJ/年
ウ 熱需要対象用途	☐ 冷房 ☐ 暖房 ☐ 給湯 ☐ その他 ()

備考
